

遮音壁取替工(リスクアセスメント)作業手順書

会社名	中日本ハイウエイメンテ名古屋㈱	施工ケース	ケース1	主な設備、仕様機械	クレーン付きトラック(2.93t吊り)、高所作業車	主な使用工具、器具	発電機、磁力式穴あけ機、電気ドリル、バール、充電インパクト	安全設備、保護具	保護帽、手袋、安全靴、安全フック、保護眼鏡、防護ネット、安全帯	使用材料	遮音壁 金属板 落下防止ワイヤー 遮音壁固定ハネ
作成日	平成26年8月18日	ケース2	ケース2	クレーン付きトラック(2.93t吊り)、橋梁点検車	クレーン付きトラック(2.93t吊り)	作業台・単管足場	作業人員	7名	その他		
改訂日	令和1年7月10日	ケース3	ケース3	クレーン付きトラック(2.93t吊り)			作業人員	7名			
作成者	改訂者 口野						作業人員	6名			

可能性	1:ほとんど起きない (5年に1回程度)	2:たまに起きる (1年に1回程度)	3:かなり起きる (6ヶ月に1回程度)
	頻度率:1	頻度率:2	頻度率:3

重大性	軽微 (不休災害)	重大 (休業災害)	極めて重大 (死亡・障害)
	危険度:1	危険度:2	危険度:3

評価	対策変更の 必要なし	対策が必要	即座に対策 が必要
	1~2	3~4	5~9

作業工程	施工ケース	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	評価		危険有害要因低減対策	対策後		参考図(別紙可)				
					可能性	重大性		可能性	重大性					
準備作業														
			・現地調査											
	共通	1	施工現場の状況確認	確認不足により作業員に不安全行動をさせる。	3	2	6	元請け、職長が別紙フローを現地で確認し、施工方法を構築する	現場責任者 職長	2	1	2		
			・作業前ミーティング											
	共通	1	新規入場者のチェックをする。	現場、施工方法等について十分な知識を有していない。	2	2	4	新規入場教育の受講	職長	1	2	2		
	共通	2	健康状態を確認する。	風邪、飲酒等により正常判断ができない。	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行う。	職長	1	1	1		
	共通	3	服装、保安用具の点検をする。	安全帯が破損して転落する	2	2	4	作業前に点検を行い、不備がある物は、使用せず取り替える	全員	1	2	2		
	共通	4	機械・工具等の点検をする。	機械、工具が現場にて稼働しない。	2	1	2	機械、工具の始業前点検をする。	全員	2	1	2		
	共通	5	朝礼、KYミーティングを行う。	漠然と現場に入り事故を起こす。	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する。	全員	2	1	2		
	共通	6	作業手順の確認をする。	各自の作業が分かかっていない、現場で不安全行動を起こす。	3	1	3	個人の作業内容、作業手順を確認する。	全員	2	1	2		
	共通	7	車両点検、荷姿、プレートチェックをする。	積荷等が落下する。	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを自主とメンテ職員にて行う。	全員	1	2	2		
	共通			スベアタヤが落下する。	2	2	4	脱落防止装置設置及び取り外しを行う。	運転手	1	2	2		
	共通			プレート許可区域外使用。	2	1	2	証明書、プレート末尾番号、通用区間の再確認	職長	1	1	1		
移動														
	共通	1	交通ルールを守り運転する。	人身、物損事故。	2	3	6	nexcoの一員であることを自覚して運転する。	運転者	1	3	3		
	共通	2	高速道路に入る前には、プレートを確認しておく。	プレート許可区域外使用。	2	1	2	高速道路に入る前に再度確認する。 (自主、メンテ職員)	運転者	1	1	1		
	共通	3	誘導員と車両の順番を打ち合わせしておく	規制区間への流入ミス。	1	2	2	待機中に再度順番の確認、隊列通りの車両配置を行う。	職長	1	2	2		
	共通	4	連絡が次り第出発。(間隔あけて出発)	一般車両との接触。	2	2	4	高速80kmでの走行。安全運転に徹する。	運転者	1	2	2		
	共通	5	規制手前300mで、ハザード。	一般車両との接触。	2	2	4	待機中に再度規制流入方法の確認する。	運転者	1	2	2		
	共通	6	規制手前100mで、ウインカー。	一般車両との接触。	2	2	4	待機中に再度規制流入方法の確認する。	運転者	1	2	2		
	共通	7	スピードを十分に落とし、工事出入口より侵入。	通行車両と誘導員との接触。	1	3	3	誘導員は、保安業務に徹する。進入車両はスピード50km以下で進入するよう徹底する。	誘導員	1	2	2		
	共通	8	規制内で現場まで移動。	車両同士の接触。	2	1	2	車両間隔を十分に取る。	運転手	1	1	1		
	共通			車両と作業員の接触。	2	2	4	運転手は後進時、誘導員なしでは動かない。	運転手	1	2	2		
	共通				2	2	4	誘導員は運転手から見える位置に立つ。	誘導員	1	2	2		
	共通	9	規制内であっても車両は、ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする。	車両が動いて、他のものに接触する。	1	2	2	運転中には、ハンドル切、サイドブレーキ、輪止め啓発のプレートを掲げる。	全員	1	2	2		
	共通			車内の盗難、物品の紛失。	1	1	1	車両から離れるときは、鍵を必ずかける。	全員	1	1	1		
本作業														
			・遮音壁取替工											
		1	落下防止対策設置											
	共通		職長は、安全管理に心がける。	作業員の不安全行動。	3	1	3	職長は作業より、安全管理仕上げ具合に留意する。	職長	2	1	2		
	ケース1・2		高所作業車等の設置。	アウトリガーの張出不足・地切り不足による転倒。	2	3	6	技能講習受講者が、設置後アウトリガーをすべて確認する。	技能講習受講者	1	3	3		
	ケース1・2			無理な作業をして高所から落下。	2	3	6	安全帯の着用を徹底する。	全員	1	2	2		
	ケース1・2			高所作業車等から工具の落下。	2	2	4	手元注意、落下防止対策をする。	全員	1	2	2		
	共通		単管足場の設置(別紙施工図)	固定金具の締め付け不足による転落	2	3	6	作業主任者技能講習者がすべてを確認する。 (確認出来ない場合は作業を中止する)	現場責任者 職長	1	3	3	作業床の手摺に緩衝材を取り付ける アウトリガー設置時は前を先後を後、 撤去時は後を先、1前を後の順で作業 をする。	
	共通	2	天端プレート撤去	支柱及びパネルを損傷させる	2	1	2	ボルト類、ワイヤーを落下させないよう注意する。資材及び道具等落下しないよう落下防止器具を使用する	全員	1	1	1		
	共通	3	小型移動式クレーン据え付け	アウトリガーの張出不足による転倒。	2	3	6	有資格者による作業員が、設置後アウトリガーをすべて確認する。	技能講習受講者	1	3	3		
	共通			安全装置の故障による転倒	2	3	6	始業前点検を行い、不備がある場合は使用しない	技能講習受講者	1	3	3		
		4	玉掛け作業											
	共通		撤去する吸音板の固定金具をバールで撤去する	固定金具の落下	2	2	4	手元注意、落下防止対策をする。	全員	1	2	2		
	共通			工具の落下	2	2	4	手元注意、落下防止対策をする。	全員	1	2	2		
	共通		撤去する吸音板の真上・中心にくるよう合図者がOPに指示する	合図者及びOPが指示ミスにより吸音板の損傷	2	2	4	作業前ミーティングにより合図の徹底をする。	OP 技能講習受講者	1	2	2		
	共通	5	地切り確認	確認せず作業を行い、吊り荷が触れ吸音板の損傷	2	2	4	有資格者による作業員が、10cm程度上げて状況を確認する。	技能講習受講者	1	2	2		
	共通	6	小型移動式クレーン旋回	旋回範囲内の確認不足により作業員及び障害物に接触	2	2	4	合図者は運転手の見える場所で行う。	技能講習受講者	1	2	2		
	共通				2	1	2	旋回は作業範囲側とする	技能講習受講者	1	1	1		
	共通				2	1	2	手や指を挟まないようにする	全員	1	1	1		
		7	吸音板撤去											
	共通		支柱の天端まで吊上げ合図者の誘導により支柱から取り出す	合図者及びOPが指示ミスにより作業員が負傷	2	1	2	作業前ミーティングにより合図の徹底をする。	OP 技能講習受講者	1	1	1		
	共通			落下防止ワイヤーが脱落し、作業員及び構造物の損傷	2	1	2	ワイヤーを落下させないよう注意する。資材及び道具等落下しないよう落下防止器具を使用する	全員	1	1	1		
		8	既設支柱孔加工											
	ケース1・2		磁力式削孔機にて所定の箇所に孔をあけることを基本とする	作業員が身を乗り出して行き、墜落する	2	3	6	高所作業車等から作業を行う。安全帯を着用しフッキング	全員	1	3	3		
	ケース1・2		(削孔後は補修塗料を塗布する)	電源OFFになった場合、器具の落下	2	2	4	落下防止バンドの設置、発電機の点検を確実にを行う	全員	1	2	2		
	共通	9	小型移動式クレーン据え付け	アウトリガーの張出不足による転倒。	2	3	6	有資格者による作業員が、設置後アウトリガーをすべて確認する。	技能講習受講者	1	3	3		
	共通			安全装置の故障による転倒	2	3	6	始業前点検を行い、不備がある場合は使用しない	技能講習受講者	1	3	3		
		10	玉掛け作業											
	共通		新材にワイヤーにて玉掛けをする	吊り位置がずれていてワイヤーが外れる	2	2	4	有資格者による作業員が確認する。	技能講習受講者	1	2	2		
	共通	11	地切り確認	確認せず作業を行い、吊り荷が触れ吸音板の損傷	2	2	4	有資格者による作業員が、10cm程度上げて状況を確認する。	技能講習受講者	1	2	2		
		12	吸音板設置											
	共通		支柱の天端まで吊上げ合図者の誘導により支柱にはめ込み静かに下ろす	合図者及びOPが指示ミスにより作業員が負傷	2	2	4	作業前ミーティングにより合図の徹底をする。	OP 技能講習受講者	1	2	2		
	共通			固定金具をハンマーで打ち込む	作業員が誤って手をハンマーで打ち込み負傷	2	1	2	手や指を挟まないようにする	全員	1	1	1	
	共通		天端まで設置したら落下防止ワイヤーを天蓋に差し込み固定する	支柱及びパネルを損傷させる	2	1	2	ボルト類、ワイヤーを落下させないよう注意する。資材及び道具等落下しないよう落下防止器具を使用する	全員	1	1	1		
後片付け														
		1	落下防止対策撤去											
	共通		単管足場の撤去	撤去作業中に誤って墜落	2	3	6	設置作業とは逆の手順で行うよう、手順を確認する	全員	1	3	3		
	ケース1・2		高所作業車等の撤去	アウトリガーの格納不足により構造物を損傷	2	1	2	作業主任者技能講習者がすべてを確認する。	技能講習受講者	1	1	1		
	共通	2	梱包材片付け	片付け不足により現場離脱の際落下させ通行車両に接触	2	2	4	飛散しないように土嚢に詰める 詰めた袋が飛散しないよう固定する 車のキャビンの中に乗せる	全員	1	2	2		
	共通			作業用荷の落下。	2	2	4	車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく。	全員	1	2	2		
	共通			積荷の飛散養生ロープ設置時、通行車両との接触。	2	2	4	通行車両側の反対側で、ロープ固定する。	全員	1	2	2		
	共通	3	作業車両離脱	通行車両との接触。	2	2	4	運転手は誘導員なしでは動かない。 車両の移動は必ず誘導員の指示に従う。 誘導員は運転手から見える位置に立つ。	運転者	1	2	2		
	共通			車両同士の接触。	2	1	2	車両の移動は必ず誘導員の指示に従う。	運転手	1	1	1		
	共通							間隔をあけて出る。	運転者					
	共通			人身、物損事故。	2	2	4	nexcoの一員であることを自覚して運転する。	運転者	1	2	2		
移動														
			・現場離脱											

元請け施工計画書、施工図、略図、写真等を添付し、作業現場に貼付した物とする。

作業床の手摺に緩衝材を取り付ける
アウトリガー設置時は前を先後を後、
撤去時は後を先、1前を後の順で作業
をする。